

ミュシャ財団秘蔵
ミュシャ展 パリの夢 モラヴィアの祈り
 Alphonse Mucha: An Insight into the Artist
 日本テレビ開局60年特別美術展
 森アーツセンターギャラリー
 2013年3月9日㈯～5月19日㈰

No.	作品名	制作年	技法	作品サイズ(cm)
第1章: チェコ人 ミュシャ				
1	バレットを持った自画像	1907年頃	油彩・カンヴァス	44×30
2	妹アンジェラの肖像	1880年頃	油彩・カンヴァス	50×39.5
3	妹アンナの肖像	1885年頃	油彩・カンヴァス	55×34.5
4	ジリの肖像	1920年頃	油彩・カンヴァス	48×50
5	人形を抱くヤロスラヴァ	1917年	油彩・カンヴァス	47×45
6	『イヴァンチツェの想い出』の習作	1903年	木炭、バステル・グレーの紙	45×27
7	イヴァンチツェの想い出 イヴァンチツェ市発行のポストカード	1909年	カラーリトグラフ	14×9.4
8	イヴァンチツェ地方祭	1912年	カラーリトグラフ	93×59
9	ヤン・ヴォホチ(1865-1920) ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエ	1903年	油彩・カンヴァス	80×100
10	フランティシェク・クブカ(1871-1957) パリのベセーダの任命書	1898年	鉛筆、インク、水彩、クレヨン・紙	54×35
11	ダヴィド・ヴィドホフ(1867-1933) アルフォンス・ミュシャの肖像	1899年	鉛筆・紙	42×32
12	シャルル・コーシャン(1872-1943) ミュシャの肖像彫刻	1902年	ブロンズ胸像	44×49×29
13	ショクレータ・クラブのメンバー、ミュンヘンにて 横顔で写るミュシャをはさみ、ダヴィド・ヴィドホフ(左)とカレル・ヴァツラフ・マシェク(右)	1886年頃	ガラスネガからプリント	18×24
14	ミュンヘン美術アカデミーの生徒であったチェコ人画家のカレル・ヴァツラフ・マシェク	1886年頃	ガラスネガからプリント	24×18
15	ミュシャと友人たち、グランド・ショミエール通り、パリのアトリエにて 左より、ポール・ゴーギャン、ミュシャ、チェコ出身の画家ルジエック・マロルド、ゴーギャンの愛人「ジャワ女アンナ」	1893-94年頃	ガラスネガからプリント	18×24
16	二人の妹、義弟と写るミュシャ、南モラヴィアのロシツェにて 左より妹アンナ、アンナの夫かつ雑誌『クロコディール』の発行人フィリップ・クブラ、ミュシャ、妹アンジェラ	1909年頃	ガラスネガからプリント	18×24
第2章: サラ・ペルナルとの出会い				
17	ジスマンダ	1894年	カラーリトグラフ	216×74.2
18	『ル・ゴーロワ』誌の別冊『ジスマンダ』特集の表紙の下絵	1894年	鉛筆、水彩・厚紙	32.5×25
19	『ル・ゴーロワ』誌の別冊『ジスマンダ』特集	1894年	挿絵雑誌、リトグラフ	35×27
20	『椿姫』の特別プログラムの表紙と中ページの下絵	1896年	鉛筆、水彩・紙	見開き 28×46
21	椿姫	1896年	カラーリトグラフ	207.3×76.2
22	サラ・ペルナル主宰のルネサンス座の広告ポスターの下絵	1895年頃	ベン、インク・紙	29×79
23	ロレンザッティオ	1896年	カラーリトグラフ	203.7×76
24	メディア	1898年	カラーリトグラフ	206×76
25	トスカ	1899年	カラーリトグラフ	103×36
26	サラ・ペルナルの頭部:『ロレンザッティオ』の習作	1896年	鉛筆・紙	25×21.5
27	レグロン(ナボレオン2世)に扮するサラ・ペルナル	1900年	鉛筆・紙	27.5×20
28	サラ・ペルナルのための午餐会(1896年12月9日)のメニューの校正刷	1896年	リトグラフ	29×19.8
29	『ラ・ブリュム』誌版アート・ポスター:サラ・ペルナル	1897年	カラーリトグラフ	69×51
30	『ヴェルテル』のプログラム	1903年	小冊子	24.8×15.3
31	アドルフ・アルマン・トリュフィエ(20世紀初め-1937年に活動) ミュシャの『遠国の大姫君』に倣った照明器具	1900年頃	金メッキしたブロンズ、マラカイト、 アメジスト、ラピスラズリ 本製の台座: 51×36×13	42×27×11、 27.5×20
32	『トリボリの姫君イルゼ』	1897年	挿絵本	30.1×24.2
33	デュマの舞台『アスカニオ』の衣装デザイン、『舞台衣装』誌の挿絵	1890年	雑誌の国版	30.8×22.3
34	女優エセル・パリーモアの肖像	1909年頃	鉛筆・紙	49×44
35	女優モード・アダムスの肖像	1909年	鉛筆・紙	49.5×44
36	シェイクスピア劇の衣装デザイン	1908年頃	鉛筆、水彩・紙	25×37.2
37	『お気に召すま』の舞台デザイン	1908年	鉛筆、水彩、グアッシュ・紙	48×63
38	『リブシェ』の舞台デザイン	1915-16年	鉛筆、水彩、白のハイライト・紙	21×25.6
39	演劇芸術のアレゴリー	20世紀初め	テンペラ・カンヴァス	147.5×389
40	悪魔とトゥワルドフスキー:『パン・トゥワルドフスキーの物語』(『ファウスト』のヴァリエーション)の挿絵の習作	1888年頃	木炭、チョーク・紙	85×64.2
41	グラナダの鍵を受け取るカトリックのフェルディナント王: シャルル・セニョボス著『スペインの歴史』(未完)の挿絵の習作	1898年頃	油彩・板	57×42
42	シャルル・セニョボス著『スペインの歴史』(未完)の挿絵の習作	1898年頃	インク、グアッシュ・紙	43.7×32.3
43	ゲーテとシラー:シャルル・セニョボス著『ドイツの歴史の諸場面とエピソード』の挿絵の習作	1897年	インク、グアッシュ・紙	48×36
44	空中宮殿:グザヴィエ・マルミエ著『おばあちゃんのお伽話』の挿絵の習作	1891年	インク、グアッシュ・紙	32×20
45	美しい宮殿:グザヴィエ・マルミエ著『おばあちゃんのお伽話』の挿絵の習作	1891年	インク、グアッシュ・紙	29×21.5
46	ユディット・ゴーティエ著『白い象の伝説』の挿絵のためにポーズをとるゴーギャン、 グランド・ショミエール通り、パリのミュシャのアトリエにて	1893年	ガラスネガからプリント	24×18
47	セルフポートレート:シルクハットをもってポーズをとるミュシャ、ヴァル=ド=グラース通り、 パリのミュシャのアトリエにて	1896年頃	ガラスネガからプリント	24×18
48	エミール・ゲバール著『クリスマスと復活祭の鐘』のためにポーズをとるモデル、ヴァル=ド=グラース通り、 パリのミュシャのアトリエにて	1900年頃	ガラスネガからプリント	24×18
49	エミール・ゲバール著『クリスマスと復活祭の鐘』のためにポーズをとるモデル、ヴァル=ド=グラース通り、 パリのミュシャのアトリエにて	1900年頃	ガラスネガからプリント	24×18
50	ドイツ劇場の壁画『悲劇』のためにポーズをとるミス・ライヒル(マックス・ラインハルト劇団の看板女優)、 ニューヨークのミュシャのアトリエにて	1908年	ガラスネガからプリント	24×18
51	『ジャンヌ・ダルク』のポーズをとるモデル	1909年	ガラスネガからプリント	24×18

No.	作品名	制作年	技法	作品サイズ(cm)
第3章:ミュシャ様式とアール・ヌーヴォー				
52	カサン・フィス印刷所	1896年	カラーリトグラフ	174.7×68.4
53	ルフェーヴル=ユティル ビスケット:シャンパン風味	1896年	カラーリトグラフ	52.1×35.2
54	『ルフェーヴル=ユティル ビスケット:シャンパン風味』の習作	1896年	鉛筆・紙	64.5×38
55	ショコラ・イデアル	1897年	カラーリトグラフ	117×78
56	サロン・デ・サン 第20回展	1896年	カラーリトグラフ	63×43
57	ジョブ	1896年	カラーリトグラフ	66.7×46.4
58	ムーズ川のビール	1897年	カラーリトグラフ	154.5×104.5
59	モナコ - モンテカルロ	1897年	カラーリトグラフ	110.5×76.5
60	パーフェクタ自転車	1902年	カラーリトグラフ	53×35
61	ネスレ乳児食	1897年	カラーリトグラフ	72×34.5
62	モエ・エ・シャンドン:ドライ・アンペリアル	1899年	カラーリトグラフ	60×20
63	モエ・エ・シャンドン:ホワイトスター シャンパン	1899年	カラーリトグラフ	60×20
64	ネスレ社の奉祝ボスター(ヴィクトリア女王即位60年記念)	1897年	カラーリトグラフ	200×300
65	ウェイヴァリー自転車	1898年	カラーリトグラフ	88.5×114
66	『ルフェーヴル=ユティル ビスケット』容れの校正	1899年	リトグラフ	34.8×49.9
67	『ルフェーヴル=ユティル ビスケット』容れ	1899年	蓋、取っ手付き缶容器、オフセット印刷	16×13.5×11.5
68	『ルフェーヴル=ユティル ゴーフル:バニラ風味』の箱	1900年頃	缶の箱にラベル	19.3×18.3×17.5
69	『ルフェーヴル=ユティル ビスケット:マデラ酒風味』の箱	1900年頃	缶の箱にラベル	8×20.4×11.7
70	ウィットマン〈サルマグンディ〉キャンディー箱、ミュシャの《黄道十二宮》のデザイン入り	1926年	缶の箱	7×20.3×17.1
71	『ルフェーヴル=ユティル ビスケット:ブドワール』の箱	1901年	カラーリトグラフ	28×20.4; 8×11.7
72	『ミュシャ石鹼 スミレ』の箱	1906年	カラーリトグラフ	31×18
73	『ランス香水〈ロド〉』の習作	1896年	インク、水彩、グッシュ、金・紙	48.4×35.2
74	ランス香水〈ロド〉のセット	1890年代後半	ガラス、金属、カラーリトグラフのラベル 箱:厚紙	長さ 14.5; 直径 1.67; 箱:4.5×22×19
75	少女の頭部の装飾が施された箱	1900年頃	銀製の箱	11×14×11
76	12ヶ月の絵葉書	1899年	カラーリトグラフ	各 9.4×14
77	食器のデザイン	1900年頃	木炭、色鉛筆、白のハイライト・厚紙	20.1×20.1
78	『鏡によって無限に変化する装飾モチーフ』のためのデザイン	1900-01年頃	青と赤の鉛筆・紙	33.6×51.7
79	『装飾資料集』図54	1902年	カラーリトグラフ	46×33
80	『装飾資料集』図43の最終習作	1901-02年	鉛筆、インク、淡彩、白のハイライト・紙	41×27
81	『装飾資料集』図63の最終習作	1901-02年	鉛筆、白のハイライト・紙	54×37.5
82	『装飾資料集』図67の最終習作	1901-02年	鉛筆、白のハイライト・紙	60×40
83	『装飾資料集』図71の最終習作	1901-02年	鉛筆、白のハイライト・紙	45×32
84	ミュシャのアトリエでハーモニウムを弾くゴーギャン	1893-94年頃	ガラスネガからプリント	24×18
85	ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエ	1897年頃	ガラスネガからプリント	24×18
86	ミュシャの愛人 ベルト・ド・ランド	1896-97年頃	ガラスネガからプリント	24×18
87	アミルカレ・チブリアーニ、イタリアの革命家、社会主義者、ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエにて	1898年頃	オリジナル現像からのプリント	24×18
88	ミュシャの妻となる美術学生、マルシカ(マリ)・ヒティロヴァー、ヴァル=ド=グラース通り、 パリのミュシャのアトリエにて	1903年	オリジナル現像からのプリント	24×18
89	マリー・フランソワ・サディ・カルノー仏大統領の葬列、1894年7月1日、パリ(9つの視点のシリーズより)	1894年	ガラスネガからプリント	24×18
90	マリー・フランソワ・サディ・カルノー仏大統領の葬列、1894年7月1日、パリ(9つの視点のシリーズより)	1894年	ガラスネガからプリント	24×18
91	冬の風景:リュクサンブル公園	1900年頃	ガラスネガからプリント	24×18
第4章:美の探求				
92	夢想	1897年	カラーリトグラフ	72.7×55.2
93	パリスの審判(ヴィエマール印刷会社のカレンダー)	1895年	カラーリトグラフ	82.5×50
94	四季	1896年	カラーリトグラフ (屏風型フレームエディション)	54×103
95	花:装飾パネルの最終習作	1897年	鉛筆、インク、水彩・紙	71×44
96	『来たる年』(1898年のカレンダー)の習作	1897年	赤のチョーク・紙	66.5×30.5
97	サロン・デ・サン ミュシャ展	1897年	カラーリトグラフ	66.2×46
98	『ノートルダム石鹼』の習作	1896年頃	鉛筆、水彩・紙	52×37
99	花模様を施したチェコ民芸品のある静物画	1920年代頃	油彩・カンヴァス	35.7×25.5
100	『装飾資料集』図52の最終習作、モラヴィアのレースからインスピアされたデザイン	1901年頃	水彩・黒の紙	46×35
101	ビザンティン風の頭部:ブルネット	1897年	カラーリトグラフ	34.5×28
102	ビザンティン風の頭部:ブロンド	1897年	カラーリトグラフ	34.5×28
103	『四芸術:ダンス』の習作	1898年	鉛筆、水彩・紙	56×34.8
104	『四芸術:絵画』の習作	1898年	鉛筆、水彩・紙	56×34.8
105	『四芸術:詩』の習作	1898年	鉛筆、水彩・紙	56×34.8
106	『四芸術:音楽』の習作	1898年	鉛筆、水彩・紙	56×34.8
107	四芸術:ダンス	1899年	カラーリトグラフ(サテン・エディション)	60×38
108	四芸術:絵画	1899年	カラーリトグラフ(サテン・エディション)	60×38

No.	作品名	制作年	技法	作品サイズ(cm)
109	四藝術:詩	1899年	カラーリトグラフ(サテン・エディション)	60×38
110	四藝術:音楽	1899年	カラーリトグラフ(サテン・エディション)	60×38
111	四季:春	1900年	カラーリトグラフ	73×32
112	四季:夏	1900年	カラーリトグラフ	73×32
113	四季:秋	1900年	カラーリトグラフ	73×32
114	四季:冬	1900年	カラーリトグラフ	73×32
115	花のスケッチ	1900-01年頃	ペン、インク・紙	50×65
116	『装飾資料集』図60の最終習作	1901-02年	鉛筆、インク、淡彩、白のハイライト・紙	48×31
117	『装飾資料集』図33:百合の線画	1901-02年	鉛筆、ベン、インク・紙	58×44
118	『装飾人物集』図3の最終習作	1904-05年	鉛筆、白のハイライト・紙	48×36
119	『装飾人物集』図2の最終習作	1904-05年	鉛筆、白のハイライト・紙	64×49
120	通り過ぎる風が若さを奪い取る:团扇および《人類のバヴィリオン》(実現されず)のファーサードの下絵	1899年	カラーリトグラフ	32×24
121	ひな菊を持つ女性	1900年	装飾織物	60×78.5
122	裸婦	1903年	油彩・カンヴァス	60×40
123	薔薇色の布をまとった裸婦	1903年	油彩・カンヴァス	97.5×51
124	9月(『12ヶ月』より)『ココリコ』誌の挿絵の最終習作	1899年	鉛筆、淡彩、白のハイライト・紙	40.7×27.8
125	6月(『12ヶ月』より)『ココリコ』誌の挿絵の最終習作	1899年	鉛筆、淡彩、白のハイライト・紙	40.1×32.1
126	花に囲まれた女性:春	1916年	油彩・カンヴァス	60.3×40.5
★127	花に囲まれた理想郷の二人	1920年頃	油彩・カンヴァス	50.5×39.3
128	ポーズをとるモデル、ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエにて	1899-1900年	ガラスネガからプリント	24×18
129	ポーズをとるモデル、ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエにて	1900年頃	ガラスネガからプリント	24×18
130	ボヘミアの民族衣装でポーズをとるモデル、ヴァル=ド=グラース通り、パリのミュシャのアトリエにて	1900年頃	ガラスネガからプリント	24×18
131	ミュシャのアトリエでポーズをとるモデル	1902年頃	ガラスネガからプリント	24×18
132	バレエの習作:ヴァル=ド=グラース通り、パリのアトリエで踊る裸婦(5枚からなるシリーズより)	1901年頃	ガラスネガからプリント	24×18
133	バレエの習作:ヴァル=ド=グラース通り、パリのアトリエで踊る裸婦(5枚からなるシリーズより)	1901年頃	ガラスネガからプリント	24×18
134	バレエの習作:ヴァル=ド=グラース通り、パリのアトリエで踊る裸婦(5枚からなるシリーズより)	1901年頃	ガラスネガからプリント	24×18
135	バレエの習作:ヴァル=ド=グラース通り、パリのアトリエで踊る裸婦(5枚からなるシリーズより)	1901年頃	ガラスネガからプリント	24×18
第5章:パリ万博と世紀末				
136	装飾鎖付きペンダント	1900年	金、エナメル、淡水真珠、青貝、半貴石	長さ 159
137	指輪	1900年	金、オパール	直径 1.75
138	少女の頭部	1900年	ブロンズ、銀、金メッキ	29×22×10
139	1900年パリ万国博覧会の公式晩餐会のメニューの下絵:ミュシャ・スタイルの宝飾を身に着けた女性	1900年	鉛筆、グッシュ、淡彩・グレーの紙	62×49
140	『装飾資料集』図49の最終習作	1901-02年	鉛筆、白のハイライト・紙	51×39
141	『装飾資料集』図50の最終習作	1901-02年	鉛筆、白のハイライト・紙	50.5×39
142	『装飾資料集』時計とアクセサリーの下絵(採用されず)	1901-02年	鉛筆、インク、白のハイライト・紙	45×32
143	宝石:トバーズ	1900年	カラーリトグラフ	67.2×30
144	宝石:ルビー	1900年	カラーリトグラフ	67.2×30
145	宝石:アメジスト	1900年	カラーリトグラフ	67.2×30
146	宝石:エメラルド	1900年	カラーリトグラフ	67.2×30
147	『主の祈り』	1899年パリ、ピアッソ社により出版	挿絵本	41×31
148	『主の祈り』第3節の寓意画のための習作:「御国が来ますように」	1899年	木炭、インクによる淡彩・紙	31×25
149	『主の祈り』第3節の寓意画:「御国が来ますように」	1899年	グラビア印刷・紙	40.4×30.2
150	『主の祈り』第7節の寓意画のための習作:「かくて、わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください」	1899年	木炭、インクによる淡彩・紙	31×25
151	『主の祈り』第7節の寓意画:「かくて、わたしたちを誘惑に陥らせず、悪からお救いください」	1899年	グラビア印刷・紙	40.4×30.2
152	チェコスロvakia・フリーメイソンの入団証書	1925年頃	リトグラフ	80×45
153	フリーメイソンのゴブレット(ミュシャによるデザイン)	1923年	刻印されたクリスタル・カット・ガラス	18×11×11
154	1900年パリ万国博覧会 オーストリア館	1900年	カラーリトグラフ	98.5×68
155	1900年パリ万国博覧会 ボスニア=ヘルツェゴビナ館レストランのメニュー	1900年	カラーリトグラフ	33×13
156	1900年パリ万国博覧会 ボスニア=ヘルツェゴビナ館レストランのメニューの下絵	1900年	鉛筆、水彩・紙	62.5×24.5
157	儀式用の衣装を着用したボスニアの人々、バルカン半島への取材旅行より	1899年	オリジナル現像からのプリント	18×24
158	ボスニア=ヘルツェゴビナ館の装飾のためにポーズをとるモデル	1899-1900年	ガラスネガからプリント	24×18
159	ボスニア=ヘルツェゴビナ館の装飾のためにポーズをとるモデル	1899-1900年	ガラスネガからプリント	24×18
160	ボスニア伝説:死神ムルシア	1899年	木炭・紙	44.5×59.5
161	ボスニア伝説:ハサンガの嫁の死	1899年	木炭・紙	43.5×59.5
162	死者たち一打ち捨てられて	1899-1900年頃	木炭、バステル・青の紙	40.3×57.7
163	冬の陣営—炎上する町の近くで	1899-1900年頃	バステル・紙	47×61
164	泣く少女	1899-1900年頃	黒のチョーク、バステル・紙	47.5×32.3
165	幻影	1900年頃	バステル・紙	30×55
166	二人の人物(オルフェウスとエウリディーチュ)	1900年代初め	バステル・紙	62×38
167	《月と星:月》の下絵	1902年	インク、水彩・紙	56×21
168	《月と星:明けの明星》の下絵	1902年	インク、水彩・紙	56×21

No.	作品名	制作年	技法	作品サイズ(cm)
169	《月と星:宵の明星》の下絵	1902年	インク、水彩・紙	56×21
170	《月と星:北極星》の下絵	1902年	インク、水彩・紙	56×21
171	百合の聖母	1905年	テンペラ、油彩・カンヴァス	247×182
172	女性の肖像	1910年代半ば -1925年頃	青のバステル・グレーの紙	42.5×34
173	ヤロスラヴァの肖像	1927-35年頃	油彩・カンヴァス	73×60
174	《法律》の習作、「法律」を体現するヤロスラヴァ	1930年代初め	鉛筆、水彩、白のハイライト・紙	29.5×41

第6章: ミュシャの祈り

175	スラヴ民族の連帯: ブラハ市民会館市長ホールの天井画の下絵	1910-11年	油彩・カンヴァス	直径 50
176	力をもって自由へ、愛をもって団結へ!: ブラハ市民会館市長ホールの壁画:《自力で I》の習作	1910-11年	鉛筆、木炭・カンヴァス	79×98
177	屈辱と苦難を受けてもなお、また生き返るであろう、わが祖国よ!: ブラハ市民会館市長ホールの壁画:《自力で II》の習作	1910-11年	鉛筆、木炭・カンヴァス	117×98
178	聖なる國の母よ、あなたの息子から愛と熱意を受け取ってください: ブラハ市民会館市長ホールの壁画:《自力で III》の習作	1910-11年	鉛筆、木炭・カンヴァス	130×90
179	征服されたブラハ: ブラハ市民会館市長ホールのパネルの習作	1911年	ペン、インク、水彩・紙	30×93.5
180	自由を夢みて: ブラハ市民会館市長ホールのパネルの習作	1911年	ペン、インク、水彩・紙	30×93.5
181	スラヴィア	1920年頃	油彩・カンヴァス	80×76
182	リブシェ	1915-17年頃	油彩・カンヴァス	145×128.3
183	民族衣装を着た女性	1936年	油彩・カンヴァス	99×89
184	モラヴィア教師合唱団	1911年	カラーリトグラフ	106×77
185	ミュシャのチェコ民族衣装コレクション: レースと刺繡が施されたモラヴィアのエプロン	20世紀初め	ロウ引き藍染め木綿製、花柄の刺繡とレースによる装飾、ウールの縞柄織り紐	63×116.5、リボン: 長さ 各91
186	ミュシャのチェコ民族衣装コレクション: クレープ織の袖付きモラヴィアのブラウス	20世紀初め	白の木綿製、花と幾何学模様の刺繡バンドとレースによる装飾	胴体: 48×62、袖: 各55
187	ミュシャのチェコ民族衣装コレクション: モラヴィアのベスト	20世紀初め	紺製、花と幾何学模様の刺繡、レースによる装飾、白の木綿製裏地と真鍮のボタン付き	31×45.5
188	ミュシャのチェコ民族衣装コレクション: モラヴィアの帽子、刺繡の施されたリボン付き	20世紀初め	木綿製、花柄の刺繡バンドによる装飾	帽子: 19×26.8、リボン: 各90×6.5
189	ミュシャのチェコ民族衣装コレクション: レース・刺繡が施されたモラヴィアの帽子	1890年代 あるいは 20世紀初め	白の木綿製、レースと黄色の花柄刺繡による装飾	帽子: 19×26.8、紐: 55.5
190	第8回ソコル祭	1925年	カラーリトグラフ	123×82.7
191	1918-1928: チェコスロvakia共和国独立10周年記念	1928年	カラーリトグラフ	121×83.5
192	アメリカ・スラヴ協会の趣意書の表紙デザイン	1904年	黒と赤の鉛筆・紙	34.2×28
193	ブルックリン美術館 ミュシャ展の下絵	1920年	ペン、インク、水彩・紙	49×32
194	スラヴ叙事詩展	1928-30年	カラーリトグラフ	183.6×81.2
195	《スラヴ叙事詩》初期の習作	1910-12年頃	木炭・紙	75×100
196	《スラヴの収穫祭》の習作	1910-12年頃	木炭・紙	75×100
197	《スラヴ叙事詩 第9番〈クジージュキの集会〉》の大型習作	1916年頃	バステル・紙	292×148
198	《スラヴ叙事詩 第7番〈クロミエジージュのヤン・ミリッタ〉》の習作	1916年	バステル・紙	281×153
199	《スラヴ叙事詩 第9番〈クジージュキの集会〉》の下半分の下絵	1916年	チョーク・紙	293×260
200	《スラヴ叙事詩 第1番〈原故郷のスラヴ民族〉》の習作	1910-12年頃	油彩・カンヴァス	38×45
201	《スラヴ叙事詩 第2番〈スヴァントヴィットの祝祭〉》の習作	1910-12年頃	油彩・カンヴァス	38×45
202	《スラヴ叙事詩 第7番〈クロミエジージュのヤン・ミリッタ〉》の習作	1915-16年頃	油彩・カンヴァス	34×23
203	《スラヴ叙事詩 第8番〈ベツレヘム教会で説教するヤン・フス: 真理は勝利する〉》の習作	1915-16年頃	油彩・カンヴァス	33×46
204	《スラヴ叙事詩 第14番〈クロアチアの総督ミクラーシュ・シュピッチャ・ズリンスキによるシゲットの防衛〉》の習作	1913-14年頃	下絵デッサンの写真、水彩とグッシュのハイライト	31×44
205	《スラヴ叙事詩 第17番〈聖アトス山〉》の習作	1925-26年頃	白のハイライト、木炭・厚紙	33.2×37.4
206	《スラヴ叙事詩 第18番〈スラヴ菩提樹の下で宣誓するオムランディーナの若者たち〉》の習作	1925-26年頃	鉛筆、水彩・紙	29.7×44.2
207	《スラヴ叙事詩 第19番〈ロシアにおける農奴制廃止〉》の習作	1913-14年	水彩、グッシュ・紙	30×38.5
208	《スラヴ叙事詩 第2番〈スヴァントヴィットの祝祭〉》の苦しむ人々のポーズをとるモデル	1911-12年	ガラスネガからプリント	18×24
209	《スラヴ叙事詩 第3番〈スラヴ式典礼の導入〉》の苦しむ人々のポーズをとるモデル	1911-12年	ガラスネガからプリント	24×18
210	《スラヴ叙事詩 第8番〈ベツレヘム教会で説教するヤン・フス〉》のヤン・フスに扮するミュシャ	1915-16年頃	ガラスネガからプリント	24×18
211	《スラヴ叙事詩 第17番〈聖アトス山〉》のためのポーズをとるミュシャとアシスタントのクナップ	1925-26年頃	ガラスネガからプリント	24×18
212	《スラヴ叙事詩 第18番〈スラヴ菩提樹の下で宣誓するオムランディーナの若者たち〉》のための写真: スラヴの理念を誓うチェコの若者に扮する子供たち	1925-26年	ガラスネガからプリント	18×24
213	《スラヴ叙事詩 第20番〈究極のスラヴ民族〉》のためにモデルに指示を出すミュシャ	1926年	ガラスネガからプリント	18×24
214	聖ワシリイ大聖堂と赤の広場、モスクワ	1913年	ガラスネガからプリント	18×24
215	農民の親子、「鐘の皇帝」を背景に、モスクワ、クレムリン	1913年	ガラスネガからプリント	18×24
216	ヒランダル修道院、聖アトス山	1924年	ガラスネガからプリント	18×24
217	南西モラヴィア挙国一致宝くじ	1912年	カラーリトグラフ	128×95
218	《脅威》の習作	1912年	水彩、インク、グッシュ・紙	94×76
219	戦争	1917年	鉛筆・紙	47×40
220	戦争	1916年	鉛筆、淡彩、白のハイライト・紙	36×47.5
221	戦争	1917年頃	木炭・バステル・紙	60×44
222	フランスはボヘミアを抱擁する	1918年頃	油彩・カンヴァス	122×105

No.	作品名	制作年	技法	作品サイズ(cm)
223	《ロシア復興》の習作	1922年	ペン、インク、水彩・紙	52.2×30.2
224	《荒野の女》の習作	1923年	油彩・板	49.5×50
225	燃えるろうそくと女	1933年	油彩・カンヴァス	78×89
226	希望の光	1933年	油彩・カンヴァス	96.2×90.7
227	母と子:子守唄(ブラハ・ハラホル合唱協会の壁画〈歌〉のための習作)	1921年頃	油彩・カンヴァス	98×88
228	宿命	1920年	油彩・カンヴァス	51.5×53.5
229	《ハーモニー》の習作(初期のコンセプト)	1900年頃	パステル・紙	64×100
230	ハーモニー:エルサレムの教会のステンド・グラスの窓の下絵(実現せず)	1904年頃	インク、水彩、クレヨン・紙	90×130
231	ブラハ聖ヴィート大聖堂のステンド・グラスの窓:聖キュリロスと聖メトディオスを描いた中央パネルの最終下絵	1931年	インク、水彩、チョーク・紙	98×140
232	ブラハ聖ヴィート大聖堂のステンド・グラスの窓:聖ルドミラを描いた中央パネルの最終下絵	1931年	インク、水彩、チョーク・紙	92×140
233	ブラハ聖ヴィート大聖堂のステンド・グラスの窓: 祖母、聖ルドミラの横で跪く聖ヴァーツラフ(ボヘミア公)を描いた中央パネルの最終下絵	1931年	インク、水彩、チョーク・紙	92×139.5
234	ブラハ聖ヴィート大聖堂のステンド・グラスの窓:〈聖キュリロスの死〉を描いた左下パネルの最終下絵	1931年	インク、水彩、チョーク・紙	101×136.5
235	ブラハ聖ヴィート大聖堂のステンド・グラスの窓:〈聖メトディオスの死〉を描いた右下パネルの最終下絵	1931年	インク、水彩、チョーク・紙	101×138.5
236	はじめに:《創世記》シリーズの習作(未完成作品)	1935年頃	パステル・紙	各18×24.7
237	はじめに:《創世記》シリーズの習作(未完成作品)	1935年頃	パステル・紙	各18×24.7
238	《希望の光》の習作	1933年頃	鉛筆、水彩・紙	66×50
239	連作《三つの時代》の習作:理性の時代、叡智の時代、愛の時代	1936-38年	鉛筆、水彩・紙	12×42
240	《叡智の時代》の習作(第2ヴァージョン)	1936-38年	鉛筆、水彩・紙	35×29
241	物乞いとブルジョワ女性、モスクワ	1913年	ガラスネガからプリント	24×18
242	石割り、ブルガリア	1924年	ガラスネガからプリント	18×24
243	ロマの母と子、ブルガリア	1924年	ガラスネガからプリント	18×24
244	母と子:《ロシア復興》のためにポーズをとるモデル	1921-22年頃	オリジナル現像からのプリント	24×18
245	ブラハのヤン・アモス・コメンスキー・フリーメイソン・メモリアルの壁画のためにポーズをとるモデル	1930年頃	ガラスネガからプリント	18×24
246	《荒野の女》のポーズをとる妻マルシュカ	1922-23年頃	ガラスネガからプリント	18×24

★=世界初公開作品(ミュシャ財团提供の資料による)